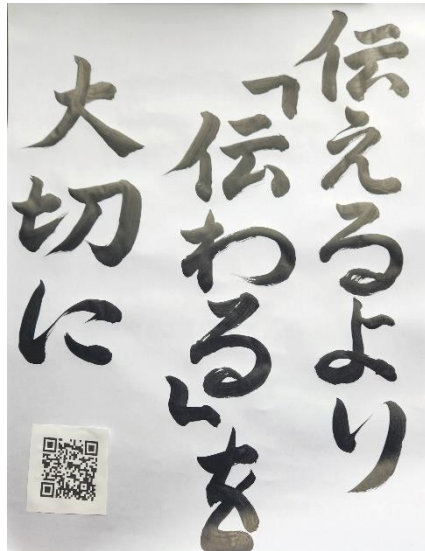


慶念寺々報

# つなぐがい

## 慶念寺の掲示板 第二十二回



「伝えるより『伝わる』を大切に」

これは、私自身が常日頃から心がけていることであり、出来ているかと言うと自信がないことでもあります。伝えようと思っ言葉を重ねると、それがかえってわかりにくさにつながってしまうこともありますし、言葉で伝えるよりも、ふるまいで示した方が良く伝わることもあります。

やんちゃになつてきた息子相手に伝えようとしすぎて、最終的に怒りの形相をしていることもしばしば。そして、そういった時に限って伝わっていないのです。

先日、ラジオのお仕事をさせていたたく機会がありました。ラジオは、音声だけで伝え



る媒体ではありますが、そこには「伝わる」ように演者さんやスタッフさん含めて沢山の方の気遣いが詰め込まれていました。相づちや、補足、間など、あげだしたらきりがありません。

そこで、気が付きました。「伝わる」とは、気遣いであり、自身がそう思っていることがしっかりと表現されているから伝わるんです。言葉で伝えるなら言葉を選び、ふるまいで伝えるなら自らのふるまいを省みる。しかし、それをしたところで相手を見ていなければ伝わるものも伝わりません。「私が」じゃ、ダメなのです。

しかし、わかっているてもそうできないのが私自身でもあります。自覚したうえで、出来る限りのことをしたいものです。

そして、もう1つ浄土真宗で大切な「伝わる」があります。それは、教えが「伝わる」ということです。親鸞聖人は先達が言った「自ら信じて人を教えて信じてもらうことは、とても難しいことだからこそ、それを行うことが真に仏様のご恩にかなうことになる」という言葉を「自ら信じて人を教えるのではなく私を通して仏様のおはたらきが伝わっていくことが、真に仏様のご恩にかなうことになる」と読み替えていらつしゃいます。仏教が伝わるのは、お坊さんの手柄じゃないんです。私達が「なんまんだぶ」をよろこぶ姿そのものが、阿弥陀様の大悲のはたらきであり、それが周囲へと広が



っていくのです。大切にしたい時は、まず自分が大切にされる。よるこんで欲しい時は、まず自分がよろこぶ。そしてそれも、全部私に伝わってきた大悲のはたらきなので、伝えようとしてもなかなか伝えられない私だからこそ、私に伝わり私から伝わっていくおはたらきをよろこべるのだと思います。

### 今年も「家族葬ホールのほり」と でお盆の法要を行います！



昨年の様子

— 昨年からお盆の法要のみ慶念寺から場所を移して、登戸駅からすぐの「家族葬ホールのほり」とで行っております。

十分に広さもあり、席数もしっかりと確保できます。昨年も、ご家族やご親戚の方とご一緒にお参りくださった方が多くいらつしゃいましたので、ぜひお誘いあわせの上お参りください。

特に初盆の方、三回忌を終えられた方はご参拝くださいますようご案内いたします。過去帳やお位牌などをお持ちいただきましたら、仏前にご安置してお参りをさせていただきます。詳細は別紙ご案内をご覧ください。

そして今年も昨年に引き続き、棺に入る体験も出来るように準備をする予定です。私も、昨年入ってみたのですが、滅多にできる体験ではありません。ぜひこちらもご体験ください。裏面に記載している「おてらおやつクラブ」への協力も宜しく願います。

# おてらおやつクラブに

## ご協力をお願いいたします！



おてらおやつクラブとは、お寺に供えられる「おそなえ」を仏さまからのおおくり「おさがり」子どもたちを支援する団体のもと、経済的に困難な状況にあるご家庭に「おすそわけ」する活動団体です。慶念寺でも毎年お盆の法要に併せておすそわけをしています。

夏休みにはいり、給食が無くなると、家庭で過ごす時間が増え経済的な負担が大きくなります。一つでも多くのご家庭に送るために、お盆の法要に向けておそなえをいただければ幸いです。おそなえの例としては

- ・ お米（二キログラム程度の小分け）
  - ・ 常温保存のできる食品（溶けないもの）
- 食品は、賞味期限が二週間以上あるものをお願いいたします。お供えに関して疑問質問がありましたら気兼ねなくお尋ねください。

**発送作業のお手伝いをお願い**  
来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和五年七月二十三日（日）  
十四時から



場所：慶念寺本堂  
内容：寺報等の封筒詰め作業

なるべく短時間で終わる予定でありますので、お手伝いいただける方は、電話やメールなどでご連絡ください。ご連絡、心よりお待ちしております。終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。お話しながら楽しく作業しましょう。ご連絡お待ちしております！

### 仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。

### ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

### お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありましたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

### 次回の法話会は

**七月十五日（土） 十時・十四時から家族葬ホールのほりこ**  
にて「お盆の法要」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

### 編集後記

五月の総会の準備から、雅楽会の演奏まで盛りだくさんの予定で怒涛の日々を過ごしておりました。そして、最後。極めつけは雅楽会の演奏会↓ラジオ収録↓大学院同窓会総会議長↓慶念寺の定例法話会を三日間で行った週でした。さすがに、体がガタガタになるまで疲れちゃいました。

ともあれ、色々なことが終わってこれからお盆に入ります。全体での法要も行いますが、個別でのお盆のお参りも受け付けておりますので、ご希望の方はご連絡いただければと思います。

さて、皆様ラジオは聞いていただけましたでしょうか。私は毎週聞いております。自分の声が公共の電波に乗って流れてくる嬉しさともわず痒さ。なんとも言えないですね。ラジコというアプリやサイトでも聞けますので、ぜひぜひ聞いてみてください！



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012  
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5  
電話：044-819-5482  
FAX：044-819-5538  
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL  
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード